

様式第二十一（第13条関係）

認定事業再編計画の内容の公表

1. 認定をした年月日

令和6年3月13日

2. 認定事業者名

カルチュア・エンタテインメント株式会社

3. 事業再編の目標

（1）事業再編に係る事業の目標

（価値観）

当社は、2014年12月にカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（以下、「CCC」という。）においてコンテンツの調達や企画製作・制作を担っていた機能を分社化する形で設立され、映像コンテンツから事業領域を拡大してきた。現在では「映像」、「出版・メディア」、「IPプロダクト」、「デジタルサービス」の4つの領域において、メディアミックスを活用したエンタメ企業No.1を目指している。

（ビジネスモデル）

当社グループを取り巻く環境においては、当社が設立当初から手掛ける映像事業ではパッケージ商品の販売及びレンタルから動画配信サービスへの需要移行が進んだほか、現在の主力事業の一つである出版・メディア事業では書籍・雑誌において紙媒体から電子媒体への需要移行が顕著となっている。

一方、当社グループが成長領域と位置付けるIPプロダクト事業が属する業界環境は、国内のクリエイターを中心とするクリエイターエコノミー市場において、多様なプラットフォームの登場等を背景に市場は拡大傾向であり、海外では将来的に国内の10倍近い大規模な市場となることが予想されているなど、今後の成長が期待されている。

このような環境の中、当社はこれまで事業持株会社として、自社の事業を行う一子会社の管理を行う必要があったため、グループ全体の事業戦略を俯瞰的に考え、特にIPを軸として各事業・子会社間の横断的な戦略（メディアミックス戦略）を立案・実行していく体制が不十分であった。また、2022年度までは構造改革による収益基盤構築に取り組んできたが、その取り組みも完了し、今後は財務体質の強化を図りつつ、中期的な事業成長に向けた重要な位置づけとなる新たな取り組みについて、多くの企画・投資・検証を展開するための資金の調達が必要と考えている。

当社グループでは今後の5カ年中長期戦略として、2023年度～2025年度を「成長領域における種蒔きの強化・継続的な種蒔き」の期間として位置づけ、今後世界的に市場の急成長が見込まれる縦読みコミックやVtuberをはじめとする新規事業や、既存事業におけるグループ内の連携及び横展開、海外への販路拡大等の取り組みを強化し、創出・保有するIPを活かした事業を推進する方針である。

そこで、成長領域の強化により競争力を高め、将来にわたる当社の持続的成長を目指すために、外部出資による成長投資を行うこととする。具体的には、SMBCCP投資事業有限責任組合1号（以下、「SMBCCP」という。）を引受先とする第三者割当増資により、成長投資に必要な資本の調達を行い、財務体質の強化・安定化を図るとともに成長戦略を加速する。

（戦略）

調達した資金は、事業戦略強化のための「IP創出・メディアミックス」、「デジタル」、「海外戦略」といった領域に充当し、IPライセンスの自社開発及び取得、Vtuber、声優ジャンルなど事業領域を拡大し、さらなる売上、利益の拡大を図るほか、新規事業となるフィギュア事業での商品ラインナップ強化や海外販路の確保など、長期的な成長を目指して事業を推進する方針である。

また、事業環境が急速かつグローバルに変化するなか、当社グループが上記の成長戦略の推進をはじめ、持続的な成長を目指すための経営体制として、持株会社体制へ移行することが最適と判断し、2024年6月開催予定の定時株主総会において、承認を得られることを前提に、2024年10月1日を効力発生日として、吸収会社分割方式により、持株会社体制へ移行する予定である。

併せて、当社は同日を効力発生日とし、当社の事業部門について今後設立予定のカルチュア・エンタテインメント分割準備株式会社（仮称）（2024年10月1日付で商号を「カルチュア・エンタテインメント株式会社」に変更予定。以下「カルチュア・エンタテインメント分割準備会社」という。）への会社分割により関連する権利義務等を承継するとともに、当社の関係事業者となる予定である。

なお、上記持株会社体制への移行後、当社は「カルチュア・エンタテインメントグループ株式会社」に商号を変更し、持株会社として当社グループ全体の経営戦略の策定や経営資源の最適配分を図る。以上により、当社グループ各社の横串による連携を強化し、メディアミックス戦略のより一層の強化を図る。

（持続可能性・成長性）

上記の事業戦略強化のための投資により、IPを軸としてIPを「創る」・「活かす」の流れを循環させていくことにより、事業の「持続的な成長」をグローバル規模で実現し、日本文化を世界市場へ広める役割を担うほか、海外市場における当社グループ及び日本コンテンツのプレゼンスを確立し、人々に感動と喜びをもたらすグローバルエンタテインメント企業としての成長を目指す。

（ガバナンス）

上記に掲げた事業再編計画の実施に当たり、出資者であるSMBCCPによる定期的なモニタリングの実施や、将来的な純粋持株会社体制への移行による執行部門と監督部門の責任と権限の明確な分離、成長資金を効率的に投下する体制の強化等により、事業再編計画の進捗状況を適時適切にモニタリングできる体制の構築に努める。

（2）生産性の向上を示す数値目標

（成果と重要な成果指標（KPI））

計画の対象となる事業の生産性の向上としては、2025年度には2022年度に比べて、固定資産回転率を29.6%向上させることを目標とする。

財務内容の健全性の向上としては、2025年度における当社及び関係事業者（以下、「当社グループという。」）の有利子負債はキャッシュフローの2.0倍、経常収支比率は109.5%とすることを目標とする。

4. 認定事業再編計画に係る事業再編の内容

（1）事業再編に係る事業の内容

①計画の対象となる事業

IPプロダクト事業を中心とする、メディアミックスに関連する事業

〈選定の理由〉

当社は、2014年のCCCからの分社化以降、映像コンテンツを起点に出版、映像制作、ライセンス調達・販売、グッズの製造・販売などのあらゆるチャネルを保持している。

アナログからデジタルへの需要移行が進み、多様なプラットフォームの登場等を背景に市場の今後の成長が期待されている中、当社グループは保有するあらゆるチャネルを活用するだけでなく、今後もチャネルを拡大し、かつ横串を刺してチャネル間の連携を深めつつ、メディアミックスで多面的な顧客接点をもちながら収益の拡大を目指す必要がある。そのためには、当社グループの将来の競争力の源泉となる、IPを軸としたメディアミックスに関連する事業への集中投資を図る必要があるため、今般の資金調達によってさらなる事業の成長を目指し、競争力・収益力の強化に取り組むに至った。

②実施する事業の構造の変更と分野又は方式の変更の内容

カルチュア・エンタテインメント株式会社は、2024年3月28日にSMBCCPから48億円の種類株式による出資の受け入れを行う。これにより、財務基盤の健全化を進め、調達資金のうち30億円をIP創出・メディアミックスの取組み強化、市場の拡大するデジタル領域や海外販路の強化といった、今後の当社グループの成長に資する新たな領域に投資することで、成長戦略の加速を図る。

なお、当該事業再編計画による生産性の向上は、当該事業分野における市場構造に照らして、持続的なものと見込まれる。

また、当該事業分野は過剰供給構造になく、さらに一般消費者及び関連事業者の利益を不当に害するおそれがあるものではない。

(事業の構造の変更)

- ・ 出資の受入れ
当社は、SMBCCP投資事業有限責任組合1号を引受先とする第三者割当増資を実施する。
- ・ 増資額： 4,800,018,000円
- ・ 増加前資本金： 10,000,000円
- ・ 増加する資本金： 2,400,009,000円
- ・ 増資の方法： SMBCCP投資事業有限責任組合1号に対して新株を発行することによる第三者割当増資

(事業の分野又は方式の変更)

IPプロダクト事業を中心とする、メディアミックスに関連する事業への経営資源の集中投下により、IPライセンスの自社開発及び取得、Vtuber、声優ジャンルなど事業領域を拡大しさらなる売上、利益の拡大を図るほか、新規事業となるフィギュア事業での商品ラインナップ強化や海外販路の確保など、長期的な成長を目指した取組を推進する。これにより、2025年度には、当社グループにおける新事業の売上高を当社グループの全売上高の5.9%以上とすることを目標とする。

<当社グループにおける新事業>

① IP創出・メディアミックス	メディアミックスの起点となるIPについて、自社IPの創出を強化するほか、自社/他社問わずIPコンテンツを活用し多面的な顧客接点を持ちながら収益の拡大を目指すべく、従来手掛けていなかった領域においてもメディアミックス戦略を推進する。 ➤ 韓国ドラマのリメイク版の制作、アニメ作品の実写作品化事業、アニメ作品の制作幹事、縦読みコミックのメディアミックス展開(アニメ化/ドラマ化等)
② デジタル戦略	今後世界的に市場の急成長が見込まれる縦読みコミックやVtuberといったデジタル領域において、本格的な事業展開のための新たな取組みを推進する。 ➤ 国内Vtuberプロデュース、オリジナル縦読みコミック作品販売、縦読みコミックにおける自社オリジナル作品の製作、自社IPによる高精度フィギュアの本格展開
③ 海外戦略	自社/他社問わず、日本をはじめとするクリエイターが創出するIPコンテンツを世界市場へ展開するため、従来は国内が中心であった各種コンテンツの販路の海外への拡大を推進する。 ➤ リメイクドラマの海外販売、縦読みコミック作品の海外販売、高精度フィギュアの海外直販売、自社企画商品及びIPグッズの海外販売、海外Vtuberの物販商品の海外販売、ボカロP楽曲の海外販売、マネジメントを行うボカロPアーティストの海外公演の企画

(2) 事業再編を行う場所の住所

東京都品川区上大崎三丁目1番1号

カルチュア・エンタテインメント株式会社(2024年10月1日付で「カルチュア・エンタテインメントグループ株式会社」に商号変更予定)

(関係事業者)

東京都品川区上大崎三丁目1番1号

カルチュア・エンタテインメント分割準備株式会社（2024年4月設立予定、2024年10月1日付で「カルチュア・エンタテインメント株式会社」に商号変更予定）

東京都品川区上大崎三丁目1番1号

株式会社アース・スター エンターテイメント

東京都品川区上大崎三丁目1番1号

株式会社S Z Media

東京都品川区上大崎三丁目1番1号

株式会社PROOF

東京都品川区上大崎三丁目1番1号

株式会社LOY

東京都品川区上大崎三丁目1番1号

株式会社otto

(3) 関係事業者・外国関係法人に関する事項

東京都品川区上大崎三丁目1番1号

カルチュア・エンタテインメント分割準備株式会社（2024年4月設立予定、2024年10月1日付で「カルチュア・エンタテインメント株式会社」に商号変更予定）

東京都品川区上大崎三丁目1番1号

株式会社アース・スター エンターテイメント

東京都品川区上大崎三丁目1番1号

株式会社S Z Media

東京都品川区上大崎三丁目1番1号

株式会社PROOF

東京都品川区上大崎三丁目1番1号

株式会社LOY

東京都品川区上大崎三丁目1番1号

株式会社otto

(4) 事業再編を実施するための措置の内容

別表1のとおり

5. 事業再編の実施時期

(1) 事業再編の開始時期及び終了時期

開始時期：2024年3月

終了時期：2026年3月

6. 事業再編に伴う労務に関する事項

(1) 事業再編の開始時期の従業員数（2024年3月28日時点）

カルチュア・エンタテインメント株式会社 295名

株式会社アース・スター エンターテイメント 47名

株式会社S Z Media 4名

株式会社P R O O F	20名
株式会社L O Y	7 名
株式会社o t t o	7 名

(2) 事業再編の終了時期の従業員数 (2026 年 3 月末時点)

カルチュア・エンタテインメントグループ株式会社	74名
カルチュア・エンタテインメント株式会社	244名
株式会社アース・スター エンターテイメント	91名
株式会社S Z M e d i a	12名
株式会社P R O O F	27名
株式会社L O Y	9 名
株式会社o t t o	7 名

(3) 新規に採用される従業員数

カルチュア・エンタテインメントグループ株式会社	180名
カルチュア・エンタテインメント株式会社	0 名
株式会社アース・スター エンターテイメント	0 名
株式会社S Z M e d i a	0 名
株式会社P R O O F	14名
株式会社L O Y	9 名
株式会社o t t o	0 名

(4) 事業再編に伴い出向または解雇される従業員数

出向予定人数	346名
転籍予定人数	0 名
解雇予定人数	0 名

6. その他

該当なし

別表 1

事業再編の措置の内容

措置事項		実施する措置の内容及びその実施する時期	期待する支援措置
法第 2 条第 1 7 項第 1 号の要件			
	ト 出資の受入れ	当社はSMBCCPを引受先とする第三者割当増資を実施する。 (増資) ①C種優先株式 ・ 増資額：3,000,018,000円 ・ 増加前資本金：10,000,000円 ・ 増加する資本金：1,500,009,000円 ・ 増資の方法：当社がSMBCCPに対して新株を発行することによる第三者割当増資 ・ 増資日：2024年 3 月28日	租税特別措置法第80条第 1 項第 1 号 (認定事業再編計画等に基づき行う登記の税率の軽減)

		②D種優先株式 ・ 増資額：1,800,000,000円 ・ 増加前資本金：1,510,009,000円 ・ 増加する資本金：900,000,000円 ・ 増資の方法： 当社がSMBCCPに対して新株を発行することによる第三者割当増資 ・ 増資日： 2024年3月28日	
法第2条第17項第2号の要件			
	イ 新商品の開発及び生産又は新たな役務の開発及び提供による生産若しくは販売に係る商品の構成又は提供に係る役務の構成の変化	IPプロダクト事業を中心とする、メディアミックスに関連する事業への経営資源の集中投下により、IPライセンスの自社開発及び取得、Vtuber、声優ジャンルなど事業領域を拡大しさらなる売上、利益の拡大を図るほか、新規事業となるフィギュア事業での商品ラインナップ強化や海外販路の確保など、長期的な成長を目指して事業を推進に取り組む。これにより、2025年度には、新事業の売上高を当社グループの全売上高の5.9%以上とすることを目標とする。	